



# いわいずみ



## シニア大家族 22

P2 緑豊かな郷土を次世代に  
放射性廃棄物の持ち込みを拒否

P4 15施設の管理や運営を指定

P6 台風10号災害

復旧・復興がおおむね完了

P7 町の考えを問う(8議員が一般質問)

釜津田の佐々木<sup>かつじ</sup>一<sup>だいいち</sup>二<sup>に</sup>さん7人  
家族です。3年前、息子の<sup>だいじゅ</sup>大樹  
さん夫婦が帰ってきました。歌  
が大好きで元気に飛び回るかわ  
い<sup>い</sup>い3姉妹の孫に囲まれて、毎  
日にぎやかに過ごしています。

# 緑豊かな郷土を次世代に

# 放射性廃棄物の 持ち込みを拒否

## 議員発議で条例を制定

12月定例会は、12月3日から8日までの6日間の日程で開かれました。

一般質問には8議員が登場。町政運営の基本姿勢をたどりました。【質問内容は7〜15ページ】

町長から提案のあった18議案を審議。議員発議（議員が議会に議案を提出すること）で「岩泉町放射性廃棄物の持ち込み拒否等に関する条例」と「少人数学級の実現を求める意見書」を提案し、全て全会一致で原案のとおり可決しました。

【条例補正予算などの審査内容は4・5ページ】



子どもたちの明るい未来を願って

### 先人から受け継いだ地を守ることが使命

本町は、平成29年に国が示した、原子力発電所（原発）から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分場の適地「科学的特性マップ」（※）に含まれていません。

本年9月の町議会定例会に「岩泉町に放射性廃棄物を持ち込ませない条例（仮称）制定についての請願」が提出され、全会一致で採択しました。

土を残し、次世代を放射性物質の脅威から守っていくことが使命と考え「岩泉町放射性廃棄物の持ち込み拒否等に関する条例」を制定しました。

員発議で坂本昇議員が提案。全会一致で可決しました。

③医療用放射性物質の利用は妨げない  
\*立場の表明  
必要に応じて国や関係機関に目的を通知  
\*町の責務  
基本原則にのっとり、まちづくりを推進  
\*議会の責務  
基本原則にのっとり、議会を運営  
\*市民の責務  
基本原則が遵守されるよう協力する  
\*施行日  
令和3年1月1日

空の青と山の緑のコントラストをいつまでも



### 総務常任委員会で条例を調査・検討

条例は、議会で作成することに決定。総務常任委員会（坂本昇委員長）が担当となりました。

委員会では、既に同様の条例を制定している自治体の状況や内容を調査。本町の条例に納入込む事項などを検討しました。併せて町との協議も行い、条例案を組み立てました。

### 議員発議で提案 全会一致で可決

総務常任委員会で作成した条例案は、議会運営委員会（畠山直人委員長）の協議を経て、12月8日の本会議に議

### 条例の主な内容

#### \*目的

町に放射性廃棄物を持ち込まないことを明らかにする

#### \*基本原則

①いかなる理由でも放射性廃棄物を町に持ち込ませない  
②原子力関連施設の建設を受け入れない

### 核のごみの処分方法は？

原発の使用済み核燃料を再処理し、ガラスと混ぜて固めます。これを厚さ約20センチの金属容器に入れ、さらに厚さ約70センチの粘土で覆い、地下300メートルより深い岩盤に埋めるとされています。

### まちの声



小田 健雄さん  
(岩泉・79歳)

岩泉は水が命！  
どんなに過疎になろうが、放射性廃棄物の持ち込みなどは許せないことだと思います。条例制定は歓迎します。

### まちの声



放射性廃棄物の持ち込みを拒否することは、今だけではなく、子や孫、その先の未来へ安心・安全をつなぐものだと思います。



三浦 善生さん  
(小本・39歳)

（※）核のごみを搬入しやすい沿岸部で、近くに火山などがいない地域が適地として示されています。

# 15施設の管理 や運営を指定

## 三セクなどに5年間



条例補正予算等審査特別委員会（林崎寛次郎委員長）は12月8日、付託された条例4件と補正予算5件、指定管理者の指定に関する議案8件を審査しました。指定管理者の指定は、町の所有する15施設を5年間、三セクやNPO法人などに管理や運営を行わせるものです。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容（質疑）を要約してお伝えします。

多くの家族連れでにぎわうふれあいらんど岩泉

### 指定管理 山村広場を岩泉球場に 名称変更を含めて検討

**問** 山村広場の名称を岩泉球場に変更すべきではないか。

**答** 現在、行財政改革大綱（※）を策定している。その中で利用料の見直しや名称変更を検討していく。

**問** 障がい者グループホーム（さくらほむ）の入所状況は。

**答** 男性4人、女性5人である。男性1人の空きがある。

**問** 募集は行っているのか。

**答** 指定管理者の町社会福祉協議会で随時行っている。

**問** 道の駅地域振興施設とは、具体的にどの施設か。

### 指定管理施設と指定管理者一覧

（指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日）

施設名称	指定管理者
高齢者生活福祉センター（どんぐり苑）	
小川デイサービスセンター	社会福祉法人 岩泉町社会福祉協議会
大川デイサービスセンター	
障がい者グループホーム（さくらほむ）	
ふれあいらんど岩泉	岩泉ホールディングス(株)
道の駅いわいづみ	
道の駅三田貝分校	
小本地域資源利活用施設（愛土館）	小本漁業協同組合
小成津波防災センター	小成自治会
B&G 海洋センター	
山村広場（岩泉球場）	特定非営利活動法人 岩泉地域活動推進センター（NPO ぱあとな）
レクリエーション広場	
屋内多目的運動場（龍ちゃんドーム）	
町民会館	
町立図書館	

議決された議案の一覧は町のホームページで確認できます。



**答** 地場産品販売施設や食堂、情報提供施設などである。

### まちの声



B&Gのスポーツクラブで、百歳体操やピラティスの活動に参加しています。知らない人とも仲良くなれ、楽しくて自然に笑いがでます。とても感謝しています。



熊谷 悦子さん（岩泉・73歳）

### 農 畑ワサビの生産量は 約260トンを見込む



畑ワサビ生産量日本一堅持へ

**問** 畑ワサビの現在の生産量と大牛内地区での計画は。

**答** 本年度の生産量は約260トンと見込んでいます。今回、大牛内地区に約5畝のほ場を整備する。最終的には10畝、200トンの生産を計画している。

**問** 大牛内で栽培する予定の岩泉ワサビ生産組合は、新規参入を見込んでいるのか。

**答** 保安林の機能を維持しながら整備を進めるため、木の伐採は多くはならない。林内積み上げと粉碎処理で考えている。

**問** ほ場整備で切り出された間伐材の処理は。

**答** 地元の生産者を含め、地域おこし協力隊員や町内の建設業者など新たな生産者で進めていきたい。

### 鳥 獣 有害鳥獣の捕獲状況は ニホンジカが563頭

**問** 本年度の有害鳥獣の捕獲状況は。

**答** 11月末現在、ニホンジカ563頭、ツキノワグマ35頭、カワウ17羽、イノシシ6頭である。

**問** イノシシの被害も出始めている。被害の場所や情報を町民に提供できないか。

**答** 各地で目撃情報が多く寄せられている。被害は、農地の掘り起こしが確認されているがイノシシによるものか詳細は不明。生態や被害の痕跡など情報発信をしていく。

**問** 害の場所や情報を町民に提供できないか。

### まちの声



大崎 公さん（安家・84歳）

クマは、忘れたところに現れてきて、家の壁板などを数回壊されました。その都度、大工さんに修理を依頼しています。対処は、駆除が一番と思います。



### 請願

1件を採択  
意見書を提出

12月定例会に提出された請願1件を採択し、国の関係機関に意見書を提出しました。

◆子ども一人ひとりを大切に、ゆきとどいた教育を進めるため、少人数学級を速やかに実現することを求める意見書を提出すること

\* 請願人 少人数学級を実現する岩手の会 代表 田代高章  
\* 紹介議員 林崎寛次郎議員  
\* 付託先 総務常任委員会

\* 請願の要旨 国に対して、小学校、中学校、高校の少人数学級を速やかに実現することを求める意見書を提出すること  
\* 審査の結果 採択  
\* 意見書提出先 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

### 水道 漏水の相談件数は 年30件程度である

**問** 年間の漏水相談件数は。

**答** 30件程度の相談がある。

**問** 漏水分も請求しているのか。

**答** 漏水の減額認定がされた場合、漏水

量の2分の1に平均的な実績水量を加算した額を請求している。

**問** 使用した分だけ請求すべきでは。

**答** 本町の規定は、県内の状況などを調べて策定している。内部で協議を進める。

次は、復旧・復興がおおむね完了

台風10号災害

復旧・復興がおおむね完了

調査特別委員長が議長に報告

平成28年台風第10号豪雨災害復旧・復興推進調査特別委員会（野館泰喜委員長）は12月8日、これまでの調査結果を議長に報告しました。本年度末で、町が発注する台風10号災害からの復旧・復興工事がおおむね完了するため、調査をいったん終了するものです。

復旧状況など計14回の調査

見交換など計14回行いました。

委員長報告の概要

議会は町議会議員の改選後、平成29年6月9日に調査特別委員会を設置しました。調査は、町当局からの復旧・復興状況の聞き取りをはじめ、災害復旧工事現場や住宅再建の状況視察。県事業の河川改修工事や道路の復旧状況は、岩手県岩泉土木センターと意



町道鼠入川線の現場調査（31年4月）



安家地区の住宅再建現場調査（31年4月）



災害公営住宅上町団地が完成（31年4月）

調査特別委員会の歩み

[安家地区]



未曾有の台風災害が発生（28年8月）



調査特別委員会を設置（29年6月）

[中里地区]



がれき処理の状況を調査（29年10月）

一般質問

町の考えを問う

8人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。12月定例会では8人の議員が登壇し、新型コロナウイルス終息後を見据えた政策などの提言や質問を行いました。ここでは、質問と答弁を要約した内容（8ページから15ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用して一般質問を行いました。

一般質問全文は、町ホームページで公開しています。



や え がしりゅうすけ 八重樫龍介 議員 (8ページ) ・SDGs 対応ホテルを ・感染予防の注意喚起を

はたけやま まさのり 畠山 昌典 議員 (9ページ) ・交流人口拡大の活動状況は ・地域防災活動への環境整備を

の だて やすき 野館 泰喜 議員 (10ページ) ・建設業の激変緩和策は ・農業振興公社の抜本改革を

み た ち ひ さ し 三田地久志 議員 (11ページ) ・移住定住の情報発信を ・再犯防止計画を

さ か も と のぼる 坂本 昇 議員 (12ページ) ・行政組織づくりの現状は ・部門・部署の強化検討を

あいしや たけし 合砂 丈司 議員 (13ページ) ・公共交通体系の見直しを

はたけやま かずひで 畠山 和英 議員 (14ページ) ・次期介護保険料は ・宮古駅までバス路線延伸を

はやしざききょうじろう 林崎竟次郎 議員 (15ページ) ・給付金などの延長要望を ・台風被災者の減免継続を



八重樫龍介議員

## エスディーゼズ S D G s 対応ホテルを

### 事業者と連携していく



アメニティの廃止で環境負荷の軽減を



2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

**問** 龍泉洞温泉ホテルの付加価値を高めるため、SDGs（17の持続可能な開発目標）に対応したホテルにすべきと考えるがどうか。

**町長** SDGsへの取り組みは、今や時代の潮流となっている。龍泉洞温泉ホテルのみならず関係機関などと連携し、積極的に取り組

んでいく必要がある。他の宿泊施設との差別化を図るため、SDGsの概念も取り入れながら地元産の農畜産物や水産物を活用した特色のある観光産業を推進していく。町内での雇用や収入を生み、持続可能な発展を遂げられるよう、宿泊事業者と連携しながら取り組んでいく。

## 問 感染予防の注意喚起を

### 情報発信を行っていく

**問** 観光産業が盛んな本町への新型コロナウイルスの侵入は、官民一体となり阻止しなければならぬ。

**町長** 町では、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、ホームページ、ピーちゃんねつとなど、さまざまな広報媒体や出前講座

などを通じて、感染対策に努めてきた。7月と11月には、マスクの配布を行い、感染予防の周知徹底を図ってきた。

今後も、自分の命はもとより、大切な人の命を守るため、さまざまな広報媒体で情報発信を行い、より一層の感染対策に努める。年末年始の帰省や旅行などは、町民にも分散化の協力を呼びかけていく。

17文字のひとりこと  
交流も  
三密避けて  
安心を

## 問 交流人口拡大の活動状況は

### 2泊3日の宿泊体験を実施

**問** 本年3月、岩泉町未来づくりプランが策定された。このプランの重点プロジェクトでもある、関係人口や交流人口の拡大が町の喫緊の課題と考える。現在の活動状況と成果を示せ。

**町長** 約20件の移住相談や住宅案内を行った。町に関心のある人には、2泊3日の「町内おためし体験」を6回実施し、計10人が参加した。

**問** 魅力ある観光拠点づくりでは、観光資源を活用した地域のブランドインング化を進めるとしている。

**町長** 町内各地の地域資源や特色ある食文化などを活用し、食を通じた産業振興を取り組む団体との連携を強化していく。三陸沿岸道路の全線開通を見据え、道路利用者素通りさせないよう町内を周遊できる仕組みを検討していく。



未来づくりプラン

## 問 地域防災活動への環境整備を

### 効果的な方策を検討していく

**町長** 昨年度から町内と首都圏に移住コーナーを相談窓口として配置してい

9月には、県内の大学生を対象に「岩泉型インターンシップ」を実施した。8人が町内事業所での研修やグループワークを行い、本町への関心を深めた。

**問** 町は、危機管理課の設置や防災士育成など防災力の向上・構築を進めている。



大学生対象の岩泉型インターンシップ（令和元年度の様子）

**問** 町は、危機管理課の設置や防災士育成など防災力の向上・構築を進めている。

**町長** 近年、災害が多様化し大規模災害も危惧される中、消防団員の確保は不可欠なものと認識している。消防団では、人材の掘り起こしに加え「機能別消防団員制度」(※)を設けるなど団員確保に取り組んでいる。就業中の消防団活動がしやすい環境づくりとして「消防団協力事業所制度」を導入し40事業所から協力をいただいている。

(※) 火災の消火など限定した活動を行う団員



畠山 昌典議員



三田地久志議員

**問** コロナ禍の中、テレワークなど働き方も変化が見えている。失業者の増加や来年度の新規採用者が激減しているとの連日の報道もある。

そこで、町出身の大学生を特命係に任命し、町の情報を発信していく仕組みを作ることが移住定住への底上げにつながるのではないか考える。

トなどの活用も含め、岩泉高校との連携も視野に入れ、必要な人材を確保できるように引き続き情報発信に取り組みんでいく。

着任した地域おこし協力隊員が、他の協力隊員のインタビューや活動の記録、撮影を行っている。新規募集に向けた情報発信に活用していく。



地域おこし協力隊員の針生和美さん。地元の素材で餃子を手作り販売し、ふるさと納税の返礼品にも選ばれています

## 問 移住定住の情報発信を 答 動画を記録し配信する

岩泉高校生や地域おこし協力隊員に参加してもらい、岩泉の四季の移ろいや仕事、街並み、活動の感想などの情報を動画で配信していくことを提案するかどうか。

町長 首都圏在住の人から「地方に貢献したい。地域のために役に立ちたい」という情報もある。インターネッ

## 問 建設業の激変緩和策は

## 答 強靱化地域計画で推進



野舘 泰喜議員

**問** 台風10号豪雨災害から丸4年が経過した。町内の建設業者のおかげもあり、本年度



安心・安全な住環境のため危険箇所の早期整備が必要

末での完遂に向かっていく。しかしこの復旧事業が終わった後に想定される建設不況に対して、何らかの激変緩和策を探らなければならない。国道340号の落合から川代区間の早期整備は釜津田からのスクールバスが通る前にやるべきだ。急傾斜地・土石流・

所946カ所に優先順位を付けて順次整備する必要がある。台風被害で寸断された山林作業道もそのままの所が少なくない。これらの実現のために、国土強靱化地域計画(※)の策定を急がなければならぬと考えるがどうか。

**町長** 国土強靱化地域計画は本年度末までに策定するよう取り組んでいる。

町内建設業者には、通常工事のほかに除雪作業や有事の際の初動対応など町民の暮らしを守るうえで欠かすことのできない役割を担っていただいている。今後、災害に強い強靱な道路や河川の整備、橋の老朽化対策など将来にわたり着実にやっていく必要がある。国土強靱化地域計画に基づく事業を計画的に推進し、工事発注の激変緩和となるよう取り組んでいく。

## 問 農業振興公社の抜本改革を 答 あらゆる角度から検討する

**問** 働き方改革が叫ばれる中、本町の畜産業にとつて欠かすことのできない岩泉農業振興公社の労働実態などを調査し、運営補助金の適正化を要望する。

**町長** 岩泉農業振興公社は、町の農業推進に欠くことのできない重要な役割を担っている。しかし、運営資金や職員不足などが課題である。運営補助金や農家負担の在り方など早急に検討していく。既存の空き牛舎を活用した直営牧場の経営は、多様な角度から慎重に検討し、今後の課題とさせてもらう。同時に、ヘルパー部門の創設も引き続き研究していく。

17文字のひとりごと  
こんなにも  
九百四十六の  
危険箇所

## 問 再犯防止計画を

## 答 計画策定を検討

**問** 平成28年12月に「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行された。

同法律では地方公共団体に「国との適切な役割分担を踏まえて、再犯防止施策を策定し実施する責務」や「地方再犯防止推進計画を定める努力義務」などが規定されている。

検挙者に占める再犯率は48・7%と見逃すことのできない割合である。安全・安心な社会の実現には、再犯防止対策が必要不可欠である。町では、計画策定を含めどのような対応をするのか。

**町長** 本町の刑法犯認知件数は、平成25年が22件、令和元年が14件と緩やかではあるが減少傾向にある。一方、刑法犯検挙人員に占める再犯者の割合は、若干、上昇傾向にある。再犯防止対策の取り組みが必要と認識している。

今後、岩手県が策定予定の再犯防止推進計画の内容を踏まえ、保健・医療・福祉団体などと連携し、計画策定に向け検討していく。

17文字のひとりごと

スクラムで  
協力隊と  
町おこし

(※) どのような大規模自然災害が起こっても機能不全に陥らず、強靱な地域をつくりあげるための法定計画



合砂 丈司議員

**問** 町では、町民バスの運行費や二次交通への補助、大川地区の公共交通空白地有償運送事業（※）など交通手段の確保や支援の充実を図っている。

**答** 町では、町民バスの運行費や二次交通への補助、大川地区の公共交通空白地有償運送事業（※）など交通手段の確保や支援の充実を図っている。

## 問 公共交通体系の見直しを 答 効率的な運行を研究する

町長 人口減少と高齢化により、公共交通機関の利用者は減少していく状況下にある。公共交通体系の見直し

町長 人口減少と高齢化により、公共交通機関の利用者は減少していく状況下にある。公共交通体系の見直し

町長 人口減少と高齢化により、公共交通機関の利用者は減少していく状況下にある。公共交通体系の見直し

町長 人口減少と高齢化により、公共交通機関の利用者は減少していく状況下にある。公共交通体系の見直し

町長 人口減少と高齢化により、公共交通機関の利用者は減少していく状況下にある。公共交通体系の見直し

町長 人口減少と高齢化により、公共交通機関の利用者は減少していく状況下にある。公共交通体系の見直し

17文字のひとりごと  
高齢者バス路線がいのち綱



高齢者にとって荷物を持つての乗り降りは大変です

## 問 行政組織づくりの現状は

## 答 行財政改革大綱を策定中



坂本 昇議員

**問** 岩泉町未来づくりプランの理念と基本姿勢には「未来を創り出す行政組織づくり」と「多様な主体と行政の協働によるまちづくり」がある。

町長 現在、行政組織や事業の見直し、アウトソーシング（外部委託）の在り方など行財政改革大綱の策定を行っている。

町長 現在、行政組織や事業の見直し、アウトソーシング（外部委託）の在り方など行財政改革大綱の策定を行っている。



職員の資質向上のため定期的に行われている研修

**問** 町が抱える重点施策である一定住居の促進「子育て・超高齢化対策」「財源の確保」など、これらに対応する部門・部署の強化検討を行う時期と考えるかどうか。

町長 国の情勢や県の動向、本町における時々の課題に対応するため、不断の見直しを行ってきた。

## 問 部門・部署の強化検討を 答 体制強化や見直しを検討

17文字のひとりごと  
まちづくり組織の強化  
待ったなし



林崎 寛次郎 議員

**問** コロナ禍の中、国・県の制度を利用して、ひと息ついている中小企業者などもある。しかし、まだまだ支援制度自体が浸透していない。

**答** 国の制度である、持続化給付金や県の観光支援事業などの期限延長を町として、強く要望すべきと考えるがどうか。

**町長** 申請期限延長の要望は、県内市町村の動向も見ながら、岩手県町村会などとも連携していく。

**問** 町独自の第一次産業者や中小企業者などへの緊急支援事業給付金は、完了したのもあるがほとんど受付中である。申請漏れが無いように対応すること



宿泊助成の延長が望まれる

## 問 給付金などの延長要望を

### 答 県町村会と連携していく

が必要だ。さらに、再支給を含めて検討すべきと考えるがどうか。

**町長** 緊急支援事業給付金は、第一次産業者112件657万円。中小企業者など278事業者5560万円の給付を完了した。万が一申請漏れがあった場合は、迅速かつ柔軟に対応する。

給付金の再支給は、国の動向に注視しながら検討していく。

## 問 次期介護保険料は

### 答 現状維持は難しい



健康まめもりフェアで行われた介護予防の体験



畠山 和英 議員

**問** 2年度は、町高齢者福祉計画・介護保険事業計画を新たに策定する年である。介護保険は、社会全体で高齢者やその家族を支えるうえで欠かせない制度である。

次期計画の策定にあたり、計画構成、基本

理念と目標、重点施策などの基本的な組み立てを示せ。

**町長** 次期計画の基本理念の取り組みは、現行計画の基本理念を踏襲する。健康寿命の延伸、介護人材の確保などを基本目標と位置付け策定を進めている。

**問** 次期計画の介護保険事業の総給付費はどの程度になると推計しているか。これらを踏まえて、第1号被保険者(65歳以上)の介護保険料基準額は、現時点でどのようになると見込んでいるのか。

**町長** 現行計画の総給付費は、3年間で42億円を見込んでいる。次期計画の現時点の推計は、44億円前後とみている。

介護保険料基準額は現段階で示す状況にはないが、現在の月額6400円の水準を維持することは難しい。

## 問 宮古駅までバス路線延伸を

### 答 実現に向け強く働きかける

**問** 岩泉線代替バスの利用者は、茂市駅での待ち時間もあり、県立宮古病院に到着するのは昼近くになる。

**答** 予約制や運行日程などに利用し難い状況があるのではないかと考えている。必要なら必要な交通手段を確保する視点で見直しを進めていく。

**町長** 岩泉線代替バスの宮古駅までの路線延伸は、利用者からの要望もある。利便性も高まるため、実現に向けて関係機関に強く働きかける。

**問** スクールバスへの一般住民の混乗運行(※)を考えるべきだ。

**町長** 時間帯の調整や料金設定、制度的な課題もある。総合的な交通体系の見直しの中で検討していく。

**問** 小川地区のコミュニティタクシーは、利用されていない路線や

**町長** 時間帯の調整や料金設定、制度的な課題もある。総合的な交通体系の見直しの中で検討していく。

17文字のひとりごと

地域ケア  
皆で支える  
人らしさ

## 問 台風被災者の減免継続を

### 答 3年12月まで減免を継続

中には、減免措置が無くなったとき、今までのように通院ができない、薬も飲めないという人も少なくない。東日本大震災被災者と同様に、高齢化と収入の不安にあえいでいる人もたくさんいる。

令和3年も国保医療費・介護保険利用料の減免を継続すべきと考えるがどうか。

**町長** 被災された皆さんの住宅再建は、おおむね完了したものと認識している。

しかし、住宅再建に伴う一時的な費用など被災された人が抱える金銭的負担を考慮し、引き続き現行制度により令和3年12月まで減免を継続する。

**問** 台風10号被災者の国保医療費・介護保険利用料の減免に助けられている町民の声を聴くと、来年1月からどうなるのかと大変心配している。

17文字のひとりごと

喰えてこそ  
生きがいの増す  
生業よ

(※) スクールバスの空席に一般の住民が乗車できるようにするもの

シリーズ  
**私の復興**  
Part-4

本町は、東日本大震災や度重なる豪雨災害によって、多くの住宅や公共施設が被災しました。この間、町民みなで力を合わせて復旧・復興に取り組みできました。

災害公営住宅の入居、個々の住宅の補修や建設も進み、着実に復興の道を歩んでいます。町民の皆さんの今の声「シリーズ私の復興」をお伝えします。



しだれ おさむ  
四垂 修さん  
(小川・58歳)

台風10号で家と豆腐工場が被害を受けました。なかなか再建が進まなかった時期には廃業も考えていました。そんなとき、お客様から「おいしい四垂豆腐を待っているよ」と励まされ、なんとか自宅と工場を再建できました。これからも支援してくれた多くの人に感謝し、恩返しできるよう頑張ります。

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 2月 17日(水) 町長施政方針演述
- 3月 1日(月) 条例補正予算審査
- 3日(水) 条例補正予算審査
- 4日(木) 一般質問
- 5日(金) 一般質問
- 8日(月) ~12日(金) 新年度予算審査
- 12日(金) 本会議の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

傍聴の際は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、マスクの着用、手指の消毒、検温にご協力をお願いします。

## 議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの?という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。(全日程はQRコードで)



議会の動き

- 10月
  - 6日 広報広聴常任委員会 (役場)
  - 8日 総務常任委員会所管事務調査 (町内)
  - 21日 総務常任委員会所管事務調査 (役場)
  - 29日 議会運営委員会 (役場)
    - 第5回臨時会 (議会議事堂)
    - 第7回議会全員協議会 (役場)
  - 31日 国道340号宮古岩泉間整備促進住民総決起大会 (宮古市)
- 11月
  - 6日 山形県高島町議会 議会広報特別委員会視察対応 (役場)
  - 12日 産業常任委員会所管事務調査 (役場)
  - 18日 山形県尾花沢市議会 総務文教常任委員会行政調査対応 (役場)
  - 20日 令和3年度町の施策に対する要望 (役場) 岩泉町表彰式典 (町内)
  - 27日 議会運営委員会 (役場)
- 12月
  - 3日 第4回定例会 一般質問 (議会議事堂)
  - 4日 一般質問 (議会議事堂) 台風第10号豪雨災害復旧・復興推進調査特別委員会 (役場) 第8回議会全員協議会 (役場)
  - 8日 条例補正予算等審査特別委員会 (役場) 本会議 (議会議事堂)
  - 13日 押角トンネル開通式 (町内)

### お詫びと訂正

いわいずみ議会だより第192号(令和2年10月16日号)19頁で、岩泉ホールディングス(株)の山下社長のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。  
誤：山下欣也社長 正：山下欽也社長



### 広報広聴常任委員会

委員長	八重樫龍介
副委員長	小松ひとみ
委員	野館泰喜
	三田地久志
	昌典
	和英
	昌典

広報広聴常任副委員長 小松ひとみ  
▽まさかここまで世界中がコロナ禍に巻き込まれるとは思っていませんでした。災害はいろいろな形で突然と目の前に現れます。何年に一度とかいう尺度では予想できません▽目の前の状況にありとあらゆる知恵を絞って対処することが大事ですが、心まで萎縮しないよう前向きに生活していきたいものです▽放射性廃棄物の持ち込みを拒否する条例が1月1日に施行されました。全会一致で可決したことに、改めて町を愛する気持ちを再確認しました。

### 編集後記

古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。

